

K-510

管理換

数理解析研究所講究録 280

表現論と Intertwining Operator



3冊

京都大学数理解析研究所

1976年8月

手ごたえ

この講究録は、1976年2月16日-19日に
教理解で行われた研究集会

表現論と Intertwining operator
の記録がある。

見られるようにいくつかの興味ある新研究
が報告され、参加者にとって有益な集会で
あった。また今回は獨狩氏の参加を得
て、表現論とフーリエ解析の間の研究
交流の端緒が開けたことは喜ばしいこと
である。

集会ではこの講究録に掲載のもの以外
にも、

報告が行われたが、原稿が
本誌着のため残念ながら掲載できなかった。

これらの報告はいつかまた別の方法で
発表されるが、発表予定のものではない。

1976年7月

杉浦克夫

表現論と intertwining operator

研究集会報告集

研究代表者 杓浦 克夫

1976年2月16日~2月19日

目 次

1. De Sitter 群上の Fourier 解析と跡公式 1
佐賀大 理工 牟田 洋一
2. ニ・三の問題の提示 16
京大 理 平井 武
3. ホアソン積分と微分方程式 21
日本女大 峰村 勝弘
4. Amenable 位相群の表現について 31
鹿児島大 敬養 酒井 幸吉
5. 表現のもちあけについて 50
東大 理 新谷 卓郎
6. 有限体上のユニタリ群の複素既約指標について 59
阪大 理 川中 宣明
7. 等質空間に対する淡中型双対定理 65
京大 理 辰馬 伸彦

8. Spin(4.1)上の球函数の展開について..... 85
 早大 理工 大豆生田雅一
9. Exponential group の holomorphically induced representation
 について 94
 東大 理 藤原 英徳
10. On the explicit formulae of characters for discrete series
 representations103
 津田塾大 三島川 寿一
11. Translation invariant operator in L^p 116
 東北大 理 猪狩 惺